


Dell™ Systems Service and Diagnostics Tools クイックインストールガイド

- [必要条件](#)
- [Dell Systems Service and Diagnostics Tools ソフトウェアの取得](#)
- [ドライバとユーティリティのアップデート](#)
- [診断のセットアップ](#)
- [セキュリティパッチとホットフィックス](#)
- [テクニカルサポートの利用法](#)

Dell™ Systems Service and Diagnostics Tools は、Microsoft® Windows®、Red Hat® Enterprise Linux® または SUSE® Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行している Dell サーバーに対して、最新の Dell 最適化ドライバ、ユーティリティおよびオンライン診断（オペレーティングシステムベース）を行います。システム管理者は、ドライバとユーティリティをディスクまたはハードドライブにコピーして使用することができます。


ファイルは、次のいずれかの圧縮されたフォーマットで提供されます。

- ディスク作成パック：Windows オペレーティングシステムを使って実行します。このフォーマットでは、解凍用ディスクが必要です。

 **メモ**：Dell Online Diagnostics では、ディスクは必要ありません。


- 自動解凍型実行ファイル：Windows オペレーティングシステムを使って実行します。
- アプリケーション：Windows オペレーティングシステムを使って実行します。
- テープアーカイブ (TAR) または RPM パッケージマネージャ (RPM)：Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを使って実行します。

圧縮ファイルを実行して、解凍時にディスクを作成するか、画面の指示に従って解凍したファイルを保存する場所を指定して、解凍したファイルを保存します。

 **メモ**：Dell Systems Service and Diagnostics Tools 6.2 は、『Dell Systems Management Tools and Documentation DVD』には収録されていません。インストールファイルはデルサポートサイト support.dell.com からダウンロードできます。

必要条件

Dell Systems Service and Diagnostics Tools を実行するには、ドライバとユーティリティをダウンロードするのに十分なハードディスクスペースを備えた Windows を実行中のシステムが必要です。

 **メモ**：Dell Systems Service and Diagnostics Tools を使用することにより、Windows、Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムを実行する Dell サーバーに対する最新アップデートを取得できます。

重要情報

- Dell Systems Service and Diagnostics Tools は、Microsoft® Windows® Preinstallation Environment (Windows PE) ではサポートされていません。
- Dell Systems Service and Diagnostics Tools は、Microsoft Windows を実行しているシステムでのみ使用できます。Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server を実行しているシステム用のドライバやユーティリティを抽出するには、Windows を実行しているシステムで Dell Service and Diagnostics Tools を実行してから、選択したファイルを最終的な保存先システムにコピーまたは共有します。


Dell Systems Service and Diagnostics Tools ソフトウェアの取得

Dell Systems Service and Diagnostics Tools をデルサポートサイトからブータブル ISO イメージとして取得して DVD に焼き付けるには、次の手順を実行します。

□□□ **support.dell.com** にアクセスします。

□□□ **Support for Enterprise IT** (企業 IT へのサポート) の **Start Here** (ここからスタート) をクリックします。

□□□ **Drivers & Download** (ドライバとダウンロード) をクリックします。

 **メモ**：サービスタグまたはモデル番号を既に選択している場合は、ステップ 7 に進みます。

□□□ **Select Model** (モデルの選択) または **Choose a model** (モデルの選択) アイコンをクリックします。

□□□ **Servers, Storage, Networking** (サーバー、ストレージ、ネットワーク) をクリックします。

□□□ **Power Edge Servers** をクリックし、該当の製品モデルを選択します。 **Confirm** (確認) をクリックします。

□□□ ^ シンボルをクリックして **System Management** (システム管理) を拡大します。

 **メモ**：他のモデルを選択するには **Change Your Product** (製品を変更する) をクリックします。

□□□ **DVD ISO - Systems Service and Diagnostics** で **Download Now** (今すぐダウンロード) をクリックし、ISO ファイルを希望の場所に保存します。

□□□ 任意のサードパーティソフトウェアを使用して ISO ファイルを DVD に焼き付けます。

ドライバとユーティリティのアップデート

提供されているドライバを使ってシステムをアップデートできます。

次のユーティリティをご利用いただけます。

- **Network Utility**：このユーティリティはネットワークカードの診断に使用します。
- **Dell Online Diagnostics**：このユーティリティを使用して Dell システムでオペレーティングシステムベースの診断を実行します。詳細については、「[Dell Online Diagnostics のセットアップ](#)」を参照してください。

Dell Systems Service and Diagnostics Tools にあるドライバとユーティリティにアクセスする方法：

□□□ 作成した DVD を Windows を実行中のシステムの DVD ドライブに挿入します。

セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、次に **実行** をクリックし、**x:setup.exe** (x は DVD ドライブのドライブ文字) と入力します。

Dell Systems Service and Diagnostics Tools ホームページが表示されます。

□□□ ドロップダウンリストからサーバーを選択します。

□□□ **ドライバ / ユーティリティ セット** の選択 からお使いのオペレーティングシステムまたはシステムユーティリティを選択して、**続行** をクリックします。

□□□ ユーティリティとドライバページから、デバイス名のリンクをクリックしてアップデートするドライバファイル またはユーティリティを選択します。

ファイルの保存場所を指定するように指示されます。ファイルは圧縮フォーマットになります。一部のファイルでは解凍用のディスクレットが必要です。

□□□ ファイルを解凍します。

ドライバと Dell OpenManage アプリケーションバージョンに関する詳しい情報は、『Dell システムソフトウェアサポートマトリックス』をご参照ください。

診断のセットアップ

Dell Online Diagnostics のセットアップ

 **注意** : `srvadmin-hapi` または `rpm` コマンドを使った `srvadmin-omilcore` のインストールは、**SC** プラットフォームでは行えません。**SC** プラットフォーム (**SC420**、**SC430** など) は、インテリジェントプラットフォームマネジメントインタフェース (**IPMI**) をサポートしないので、これらのシステムではメモリと **DRAC** 診断は使用できません。

□□□ 作成した DVD を Windows を実行中のシステムの DVD ドライブに挿入します。

セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、次に **実行** をクリックし、`x:setup.exe` (`x` は DVD ドライブのドライブ文字) と入力します。

Dell Systems Service and Diagnostics Tools ホームページが表示されます。

□□□ ドロップダウンリストからサーバーを選択します。

□□□ ドライバ / ユーティリティ セットの選択 からお使いのオペレーティングシステムを 選択して、**続行** をクリックします。

□□□ ユーティリティとドライバ ページから **Dell: Online Diagnostics** を選択します。

ファイルの保存場所を指定するように指示されます。ファイルは圧縮フォーマットになります。


□□□ お使いのオペレーティングシステム用のサブステップを実行します。

- Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Server :

□□□ **tar.gz** ファイルを解凍して指定した場所に保存します。

解凍したファイルには、インストールスクリプト (**install.sh**) と RPM パッケージマネージャ (RPM) パッケージが含まれています。

□□□ **install.sh** を使って RPM パッケージをインストールします。

 **メモ** : 必要なファイルは、すべてデフォルトインストールディレクトリ `/opt/dell/onlinediags` にインストールされています。**onlinediags** ディレクトリで、Linux セッション用に X Windows System から **startDiags.sh** を実行して、グラフィカルユーザーインタフェース (GUI) アプリケーションを起動します。アプリケーションをアンインストールするには、インストールディレクトリにある **uninstall.sh** を実行します。

- Windows :

□□□ Dell Systems Service and Diagnostics Tools から **.exe** パッケージを 起動します。

□□□ ファイルをインストールしたいディレクトリを選択します。

□□□ 選択したディレクトリに、アプリケーションを実行するために必要なファイルをすべてインストールします。

□□□ GUI またはコマンドラインインタフェース (CLI) を使ってユーティリティを起動します。

Windows での Online Diagnostics の実行

Microsoft Windows の GUI を使って Online Diagnostics を実行するには、スタート® プログラム® **Online Diagnostics x.x** (x.x は Online Diagnostics の現行バージョン) の順に選択します。

Microsoft Windows の CLI モードでアプリケーションを実行するには、<インストールディレクトリ>/oldiags/bin で **pediags** を実行します。

Red Hat Enterprise Linux および SUSE Linux Enterprise Server での Online Diagnostics の実行

Red Hat Enterprise Linux および SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムで Online Diagnostics を実行するには次の手順に従います。

a) ルート特権があることを確認します。

 **メモ**：ルート特権がない場合は、**sudo** コマンドを使います。

b) **opt/dell/onlinediags/oldiags/bin** ディレクトリに移動して **./pediags** コマンドまたは **opt/dell/onlinediags/oldiags/bin/pediags** コマンドを実行します。

Dell 32 ビット Diagnostics および MP Memory Diagnostics Utility の設定

□□□ 作成した DVD を Windows を実行中のシステムの DVD ドライブに挿入します。

セットアッププログラムが自動的に起動します。起動しない場合は、スタート ボタン、次に **実行** をクリックし、**x:setup.exe** (x は DVD ドライブのドライブ文字) と入力します。

Dell Systems Service and Diagnostics Tools ホームページが表示されます。

□□□ ドロップダウンリストからサーバーを選択します。

□□□ **ドライバ / ユーティリティセット** の選択 から **システムユーティリティ** を選択して、**続行** をクリックします。

□□□ ユーティリティとドライバ ページから、**Dell: 32 ビット Diagnostics (Diagnostics Utility)** を選択します。ファイルの保存場所を指定する ように指示されます。

□□□ ファイルをシステムに保存します。

□□□ システムにダウンロードした実行ファイルをダブルクリックします。

□□□ 画面の指示に従ってファイルを解凍します。

デフォルトでは、ファイルは **C:\dell\drivers\Rxxxxxx** フォルダに解凍されます。このファイルを初めて解凍する際は、**Diagnostic Distribution Package** 画面が自動的に表示されます。この画面には、**C:\dell\drivers\Rxxxxxx\DDDP.EXE** ファイルをダブルクリックしてアクセスすることもできます。

□□□ Diagnostic Distribution Package を使用して次のことを実行します。

- USB フラッシュドライブをインストールする
- ブータブルディスクセットを作成する
- ブータブルイメージを作成する

ブータブル CD を作成する

- 既存の診断パーティションをアップデートする

□□□ 作成したイメージを使ってシステムを起動します。

□□□□ 画面に表示された手順に従って、メモリ診断または **Dell 32 ビット Diagnostics** を実行します。

セキュリティパッチとホットフィックス

お使いのオペレーションシステム用の最新セキュリティパッチ、ホットフィックス、サービスまたはサポートパックなどは、インストール完了後すぐに、ダウンロードしてインストールすることをお勧めします。お使いのオペレーティングシステム用のダウンロードは www.microsoft.com、www.redhat.com、www.suse.com から行えます。

テクニカルサポートの利用法

デルのテクニカルサポートに連絡される前に、デルのウェブサイト support.dell.com を参照してください。その他のサポートが必要な場合は、システムの『ハードウェア所有者マニュアル』の「困ったときは」を参照し、該当する国 / 地域の電話、ファックス、またはインターネットサービスを使った連絡方法をご確認の上お問い合わせください。

Dell Enterprise Training and Certification プログラムについては、www.dell.com/training をご覧ください。このサービスは、ご利用いただけない地域があります。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

2010 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

この文書中に使用されている商標（Dell、DELL ロゴ、OpenManage、PowerEdge、PowerConnect、および PowerVault）は Dell Inc. の商標です。また、Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server および Vista は Microsoft 社の米国および他の国における商標または登録商標です。Red Hat および Red Hat Enterprise Linux は、Red Hat, Inc. の米国および他の国における登録商標です。SUSE は、Novell, Inc. の米国および他の国における登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2010 年 7 月